

Kirari Tabi

TRAVEL MAGAZINE FOR GIRLS

島根を旅する！

雲南市 | 奥出雲町 | 飯南町

特集

さくら咲く おくいずも

JR木次線の旅

トロッコ列車を
愉しもう!!



Vol. 2
Spring & Summer 2018
FREE!

Kirari Tabi Vol. 2

2018年3月1日 / 初版第1刷発行 2019年8月9日 / 第3刷発行 発行人 奥田英龍 〒689-3532 鳥取県米子市上新印342-1 有限会社グリーンフィールドス発行 電話0859-(27)7074

FREE Magazine

TAKE
FREE!



Kirari Tabi
TRAVEL MAGAZINE FOR GIRLS

島根を旅する！ 雲南市 | 奥出雲町 | 飯南町

うんなん観光ネットワーク協議会

キさんいんラ・リ

Green fields, inc.

342-1, Kamishin, Yonago-city, Tottori 689-3532
Tel. 0859-27-7074 Fax. 0859-21-7389



旅のはじめに

風がわたり、
陽の光が降りそそぐその中に、
それぞれの営みがあり、
どんなときも
変わることなく寄り添った
かたい絆がある。
足を踏み入れ
その懷に飛び込めば、
ぎゅつと掴んでくれる
安心感がある。

斐伊川堤防桜並木と町並み
中国山地の船通山に源を発し、周辺
を潤しながら宍道湖へと注ぐ斐伊川。
木次町の「斐伊川堤防桜並木」は、
全長 2 km、800 本もの桜が美しく咲
き誇る。撮影／佐々木哲平

KirariTabi

TRAVEL MAGAZINE FOR GIRLS

島根を旅する！
雲南市 | 奥出雲町 | 飯南町
Vol.2 Spring & Summer 2018



今回の旅のナビゲーター
おくいずも女子旅つくる！委員会

島根県の雲南市、奥出雲町、飯南町の魅力を
いっぱい知っている「おくいずも女子旅つくる！
委員会」のメンバーが旅のポイントを紹介します！

Contents

2 旅のはじめに

6 はるのたより

8 特集

さくら咲く、 おくいずも。

13 course1

JR 木次線の旅 懐かしく温かな風景のなかを駆け抜ける

トロッコ列車を愉しもう!!

18 course2

緑と風に包まれてアクティブな体験を

大自然満喫の旅

22 course3

産業の礎を築いた鉄・たたらの世界

Deepなきらり旅

column

21 おくいずもに見つけた深い暮らし

26 GuideMap



cover illustration : Maki Kobayashi



日本の原風景が ここにある

連なる山並みにたなびく雲海。
冬は1m以上も雪が積もるその地で
米を作り続ける人々がある。
山に湧く冷たい清水と寒暖差は、
甘みのある美味しい米を育む。
山王寺の先住の民は自然と寄り添い、
汗を流して鍬や鎌を振り、
山の傾斜に何段もの棚田を築いた。
自然はときに豹変する。
至福の恵みも与えてくれる。
先人が守り続けた田畑を継ぎ、
郷土に根を張る奥出雲地方の人々。
ここには、人の生きる原点がある。

さきのうじ 山王寺の棚田 写真 / KWAN

雲南市大東町山王寺は、標高300mの集落。山の斜面に築いた田んぼ約200枚は、段差を付けた棚田になっている。平成11年に「日本の棚田百選」選定。寒暖の差により美味しく育つ「山王寺棚田米」はブランド米として人気が高い。毎年、秋には棚田祭りも開催されている。

冒険の森てんば 棚田カフェ

棚田の景色を一望できる古民家カフェ。神々が宿るとして神事に使われる「まこも」を栽培していて、まこもの葉の粉末入り「てんばカレー」「まこもアイス」が食べられる。

雲南市大東町山王寺 551 [map A-5](#)
tel.080-3588-3499
10時～17時 木～土曜のみ営業
(冬期は1月～3月休業)





上／3月上旬に咲き、春を告げる濃いピンク色の河津桜（大東町赤川土手）。下／全国屈指の斐伊川堤防（木次町）の桜並木。夜桜も美しい。
撮影／KWAN

桜の町に 夢ふくらませ

島根県の奥出雲地方の春は、豊かな山林に咲く花の姿が知られる。まだ新緑の芽吹きに早い3月上旬、タムシバの木に白い花が咲き始め、しばらくすると桜が山や里の景色を春色に染めていく。

なかでも島根県雲南市木次町にある木次土手の桜並木は、「日本さくら名所100選」にも選ばれる全国屈指の名所だ。昭和初期に町民の手によって植えられた800本の桜は、4月初旬ともなれば一斉に淡いピンク色の花を開花させ、2kmに渡って花のトンネルをつくる。



その木次町に育った吾郷康子さんは、郷土の桜を使ったさくら染めの「木の花工房」を開いて10年を迎えた。女性ならではの発想で、桜の開花前に行う剪定で大量に廃棄される小枝を利用した染物を思いつく。しかし、思う色を出すまでには紆余曲折あり、九州まで指導を仰ぎに出向いたことも。その熱心さが実を結び、今や女性の心をも引き立てる美しいさくら染めを完成させた。「何より、百年近くも町民が誇りにしてきた木次町の桜のことを、歴史も含めて県外のみなさんにも知って欲しいです」と、吾郷さん。木次土手の桜は、何度も伐採の危機に遭いながらも大切に守られてきた歴史があるからだ。

奥出雲地方の桜は、澄んだ空気のなかで桜を愛でる人々に囲まれ、今年もひと際美しい花を見せてくれる。

吾郷康子さん

雲南市木次町生まれ。さくら染め「木の花工房」代表。同町で結婚。「うんなんさくらプロジェクト代表」「雲南市演劇によるまちづくりプロジェクト実行委員会委員長」など、地域活動の中心的存在。



毎年、工房で作る桜の塩漬け。茶碗の底に咲く花に心も開く。中／上品な色合いに染まるストール。下／桜の木を煮出した染液。材料の部位で色合いが変わる。

さくら染め 木の花工房
雲南市木次町新市320 [エリアマップb](#)
tel.0854-47-7087



民家を改装した 隠れ家的カフェ カフェ オリゼ



JR 木次駅から歩いて約5分の住宅街にあり、手作りの日替わりランチが人気。玄米ご飯は無農薬・無化学肥料のアイガモ農法、自家製みそで作るみそ汁など、体と心に優しい美味しさ。

雲南市木次町里方331-1 [エリアマップb](#)
tel.0854-42-5486
11時～17時
月・火曜定休（臨時休業あり）



上／玄米ご飯と季節野菜たっぷりの日替わりランチ。
コーヒーor紅茶つき1200円。プラスデザート1500円。
下／木次乳業のヨーグルト入りモカロール。



さくらのある景観を 未来につなぐ 雲南市さくらの会

さくらのある景観を後世につなぐと、雲南市さくらの会では会員を募集。年会費1口1000円～。苗木をプレゼントしている。問／雲南市さくらの会事務局 tel.0854-40-1054（雲南市観光振興課）

川の兩岸、加茂町、大東町の赤川沿いにも続いている。奥出雲町や飯南町には一本桜の巨木も立つ。種類や色もさまざま。八重桜や緑の花の御衣黄は、4月の下旬まで楽しめる。
とはいえ、眺められるのは1週間から10日。その間にいつきに花びらをほころばせ、舞散っていく。その潔さと美しさに呼び寄せられて、今年も桜に会いに行こう。

さくら。雲南市エリア



↑(上) 斐伊川堤防桜並木（木次町）

約2kmにわたる800本の桜並木。4月初めに満開を迎え、花のトンネルを夢心地でくぐり抜けられる。「日本さくら名所100選」選定の屈指の名所。 [エリアマップb](#)

↑(下) 段部のしだれ桜（加茂町）

多々納家（屋号：段部）の敷地に立つ樹齢340年のしだれ桜。枝が地面まで垂れ下がる姿は満開の滝のよう。4月上～中旬の開花期間は夜間ライトアップされる。 [map B-4](#)

➡ 三刀屋川沿いの御衣黄（三刀屋町）

三刀屋川両岸に植えられた約1000本の桜は、木次の斐伊川堤防に並ぶ美しさ。そのうち約100本は淡い緑の桜「御衣黄」。御衣黄は4月中～下旬ごろが見頃。 [map B-4](#)

➡ 赤川土手の河津桜（大東町）

赤川堤防沿いに約1km続く河津桜の桜並木。濃いピンクの花色は、まだ寒さの残る雲南地域に、一足早く春の到来を告げる。開花は3月上旬より約1か月間。 [map B-4](#)



特集 さくら咲く、 おくいずも。



おだやかな陽ざしが降りそそぐ
今年も大地に新しい命が目覚め
花々の競演が始まった
斐伊川堤防の桜並木も
一本桜の古木も蕾をふくらませ
たくさんの人との出会いを待っている
奥出雲地方の春のはじまり

日本で指折りの 桜並木のある町

長かった冬が過ぎ温んだ風が吹くと、奥出雲地方の里山にも春が来る。新しい命の芽生えとともに、寒い間に蓄えた大地のエネルギーが一斉に放たれる。そんな季節にこそ、雲南市、奥出雲町、飯南町を訪れたい。

ことにこの辺りの桜は美しく、雲南市だけでも1万本を超える。JR木次駅を降りると目の前にひろがる斐伊川沿いの桜並木は「日本さくら名所100選」にも選定されていて、シーズン中にはおよそ10万人が訪れ、2kmの桜のトンネルをそぞろ歩く。ぼんぼりや照明にライトアップされた夜桜も幻想的で、出店も連なつて桜まつりが盛大に行われる。

桜がこぼれるほどに満花を咲かせるのは、桜を大切に思う住民、木をこまめに手入れする「桜守」と呼ばれる専任者の日々の積み重ねがあつてのこと。関わる人々の祈りが届いてこそ、毎年、訪れる人々をやさしく見守ってくれる。

桜並木は、三刀屋町の三刀屋



撮影／安部慈光

↑大呂のお播き桜

島上地区の妙厳寺に立つ樹周約3.5mのエドヒガン桜。麻の生産が盛んだった頃、この桜の開花が種播きの目安だったことから「お播き桜」と呼ばれるように。4月上～中旬が見頃。 [map C-6](#)

さくら。奥出雲町エリア



椿、アジサイ、ムクゲなど、季節の花の天ぷらや山菜料理が味わえる。

作庭 300 年の名園を眺め 美味しい山菜料理に舌鼓 椿庵

かつて、中国地方有数のたたら製鉄業を営む名家だった蔵家。復元された 300 年前の名園を鑑賞しながら、店主が作る地元の山野草料理を味わいたい。

仁多郡奥出雲町竹崎800 [map C-6](#)
tel.0854-52-3007
11時～15時
土・日・月曜のみ営業



季節によってメニューが替わるアイスクリームはレギュラー300円。焼きドーナツは14種。160円～。

道の駅頓原内の ミルクスイーツのカフェ

ラムネ MILK 堂

イチ押しのアイスクリームは30種以上。地元の酪農家で朝一番に搾った生乳を使う。旬の果物や野菜などが入り季節ごとに味が違うのも楽しい。材料にこだわった焼きドーナツも人気。

飯石郡飯南町花栗48 [map D-3](#)
tel.0854-72-1720
9時30分～17時30分（3月～11月）
無休



地元の旬の野菜がおいしい！ 人気の薬膳レストラン

ミセス・ロビンフッド

本格的に薬膳を学んだ女性シェフがつくる料理は、食材自体が持つエネルギーが体の奥までしみ込むよう。見た目にも美しいひと皿でこの地域の豊かさを実感。薬膳雑炊、パスタやピザなどもある。

飯石郡飯南町上米島1205-1 [map E-2](#)
tel.0854-76-9277
ランチ11時30分～LO14時
ディナー18時～LO20時
火曜定休（祝日の場合は営業）

上左／旬の飯南野菜を使った本日のランチ1450円（ドリンク・おやつ付き）。上右／ミセス・ロビンフッド薬膳カレー 1200円。料金は税別。

さくら。飯南町エリア



↑祝原のエドヒガン

来島湖の南に位置する祝原に咲く樹齢400年の桜。樹高16m、樹周4.9mの姿は、国道184号から神戸川沿いに少し入った道路から見られる。4月中～下旬に開花。

[map D-2](#)

↓張戸のお大師桜

田の水に映る、逆さ桜の姿が美しいヤマザクラ。樹齢推定200年。根元には弘法大師を祀る小祠が。4月中～下旬開花。大万木山方面への道中に看板あり。

[map D-3](#)

01 たてたにの桜もち

北海道産の小豆を使ったつぶ餡の桜もちが上品な甘さが人気。桜が散るまで販売。菓子工房たてたにで。5個入り500円（税別） [map A-4](#)



04 桜の塩アイス

木次乳業のバスチャライズ牛乳、木次町産のたまごを使ったアイスに、木次の桜の塩漬けをプラス。奥出雲葡萄園のレストランで。350円 [map B-4](#)

02 橘屋の桜シュー“花雲”

春限定。白餡をブレンドした桜色の生クリームと雲南市産の卵、牛乳で作ったカスタードクリーム、求肥が潜む。橘屋で。1個200円 [map B-4](#)



05 桜ぞめの香り袋

木次町の桜で染めた布を花びらの形にした香り袋。バッグやポケットにしのばせて。奥出雲葡萄園、木の花工房で。1個800円 [エリアマップb](#)

03 桜めん・桜葉めん

桜の花や葉の塩漬けを練り込んだ乾麺は、ゆでるとのど越しのよいうどんに。道の駅さくらの里さききなどで。70g×2個421円



06 桜の塩漬け

木次町の桜の花の塩漬け。桜茶、焼酎の湯割りや熱々のご飯に。奥出雲葡萄園、木の花工房で。瓶(20g)・袋(30g)各500円（税別） [エリアマップb](#)

Column さくらの スイーツ & おみやげ

思い出も一緒にお持ち帰り!!



07 簸上堂の桜のズコット

地元産の牛乳、卵、米粉、桜の花を使ったズコット。しっとりした春ならではの味わい。簸上堂で。1ホール 950円（2月中旬～4月末） [エリアマップb](#)





懐かしく温かな風景のなかを駆け抜ける

course
1

JR木次線の旅

トロッコ列車を
愉しもう!!

撮影／白築輝二

自然に溶け込み
葉をゆらし、光をつれて、
トロッコ列車はゆく

行楽シーズンの木次線を
トロッコ列車が走る

JR木次線は、島根県松江市の宍道駅と広島県庄原市の備後落合駅を結ぶローカル鉄道。4月初旬から11月中旬まで、木次駅と備後落合駅間の約60kmをトロッコ列車「奥出雲おろち号」が走っている。

ウッドディーナ車内の窓にはガラスがないから、移りゆく景色も爽やかに吹き抜ける風もダイレクトなのが魅力。勾配もあり直線が少ない路線だからこそそのんびりスピード感も人気だ。眼前に広がるのは、田園風景と点在する家、さまざまな山々、時折姿を見せる小さな街並み。格別に変化がある景色ではないけれど、なぜか懐かしく温かい気持ちになる。

旅の一日を、往復乗車でトロッコ列車の醍醐味を味わうのもいいし、片道乗車で降りた町に宿泊するのもいい。自分らしいとびきりの休日をごそう。

奥出雲おろち号は1日1往復。

全行程を往復する？それともAコースorBコース？

トロッコ列車「奥出雲おろち号」運行情報

《運転区間》JR木次線木次駅～備後落合駅間(60.8km)1日1往復
一部の日程は出雲市駅からの片道延長運転を実施。

《運転期間》4月上旬から11月中旬までの金・土・日曜日・祝日と、GW・夏休み・紅葉期間中には平日も運行。(運行予定は3月頃発表)

《料金》指定席(通常期片道)520円
運賃例/木次駅～出雲横田駅580円
木次駅～三井野原駅970円
木次駅～備後落合駅1140円

*全席指定(定員64人)・要予約 *季節に応じた防寒着の準備を!

※2019年4月現在の情報です。

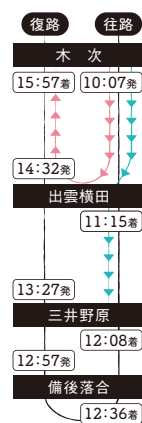


Aコース

木次と出雲横田を往復
横田の町を散策コース

Bコース

木次から三井野原まで片道
絶景満喫コース



木次線のトロッコ列車

「奥出雲おろち号」と名付けられたJR木次線のトロッコ列車は、春から秋の行楽シーズンに運行。自然と一体になるような乗り心地が魅力だ。

撮影／KWAN

撮影／徳島義孝



トロッコ列車を
愉しもう!!



安全第一！笑顔でおもてなし。「お気軽に声をかけてください」

木次駅 10:07 Start

トロッコ列車の発着駅 駅員さんもみ～んな笑顔

お弁当もスイーツも予約済み。まずは列車をバックに記念写真を撮れば、ワクワク感がふくらむ。車内でのサプライズ演出に巡り会えたらラッキーだ。

和牛の焼肉が贅沢に！



● 奥出雲和牛焼肉弁当 ¥1000

焼き鯖は雲南市の郷土料理！！



● 焼き鯖押し寿司 (8個入) ¥880

大好き！
木次乳業の
牛乳とミルクコーヒー！



撮影：徳島義孝



● 笹ずし (6個入) ¥1100

奥出雲おろち号で
さあ、木次駅を出発！

星が輝く青と白のトロッコ列車が動き出す。

木次の町並みを通り過ぎると田園風景が広がった。沿線で手を振る子どもたちや農作業をする人たちに、こちらも精一杯手を振り返す。しばらく山あいを走りトンネルを通過。出雲八代駅を過ぎれば、まもなく出雲三成の町並みが見え、亀嵩駅から線路は大きくカーブする。

緑の風と景色を浴びながら、出雲横田駅まで約1時間。

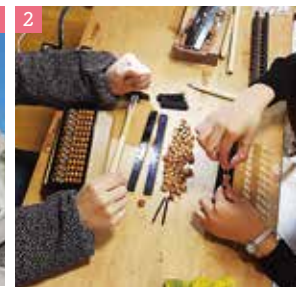
この先には、名物のスイッチバックと、神話に登場するところを巻いたオロチのような壮大な景色・奥出雲おろちループが待っている。

A 木次と出雲横田を往復

復路の列車を待つ3時間 横田の町を散策する

大しめ縄がかかる神社のような駅舎に感激したら、横田の街に繰り出そう。駅周辺にはシャレた飲食店や、立ち寄るとおもしろい施設がいくつかある。探検気分で行ってみよう。

1. 大社造りを模した出雲横田駅。
2. 「そろばんと工芸の館」は、奥出雲の伝統工芸品・雲州そろばんを展示販売。製造工程の見学や体験も可。
3. 町を散策して見つけた横田相愛教会は、文化庁の登録有形文化財だ。



立派なしめ縄が
まるで
出雲大社のように!!

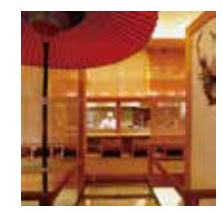


和彩空間 たち花

奥出雲産の食材にこだわり、手間をかけて作られた極上の日本料理と評判の店。上質な和の空間で四季を感じる料理に舌鼓。予算に合わせて料理をお願いできるのもうれしい。

仁多郡奥出雲町横田 1035-1 エリアマップ
tel.0854-52-1077
11時30分～14時、
17時30分～23時 (LO22時)
不定休 ※昼夜とも前日までに要予約。

上／コースメニューの一つ「奥出雲のお肉三種盛り」。下／店内で一際存在感を放つ野点。



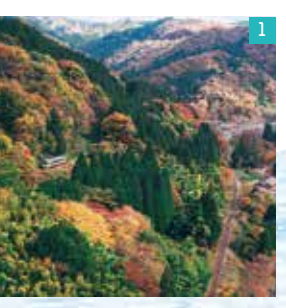
B 木次から三井野原まで片道

玉峰山荘に宿泊の場合は三井野原駅まで送迎あり (P16 参照)

トロッコ列車を満喫 ここにしかない絶景

車内でお弁当やスイーツを楽しみながら出雲坂根駅に入ると、JR 西日本で唯一の三段式スイッチバックが始まる。この駅から高低差約160mの三井野原駅へ向かう途中に見える三井野大橋や奥出雲おろちループは圧巻だ。

1. スイッチバック方式で登る車窓からの景色もバツグン。
2. 谷底まで約100mの高さにある三井野大橋。この橋が見えてきたらトロッコ列車最大の醍醐味、壮大な景色が続く。三井野大橋の先には奥出雲おろちループ。国内最大級の二重ループ橋だ。



● トロッコそば弁当 ¥730



● 亀嵩駅そば弁当 ¥600 要予約



● 焼き鳥 1本 ¥120

人気の焼き鳥は
ホームの臨時売店で
買えるよ！



販売日・販売区間限定の商品もあり！予約が確実。

奥出雲和牛焼肉弁当	マルマン雲南店 tel.0854-47-7225	要予約
焼き鯖押し寿司	道の駅さくらの里きすき tel.0854-40-0540	要予約
笹ずし	飯田屋 tel.0854-52-1044	
プリン・アイス	恵ファクトリー tel.0854-47-7108	
クリーム大福	田村屋 tel.0854-54-1517	土・日・祝日のみ
亀嵩駅そば弁当	扇屋そば tel.0854-57-0034	要予約 火曜定休
トロッコそば弁当	八川そば tel.0854-52-1513	火曜定休

地元で愛される
プリンや
アイスクリームを
販売しています！



てなぐちの里の
クリーム大福 (3個入) ¥400

標高 726m !!
JR 西日本で最も高い
場所にある駅

三段式スイッチバック。
急勾配の山の斜面を
ジグザグに登っていく。



「食の杜」とその周辺
ぜひ訪れたい



食の理想郷「食の杜」にある小さなワイナリー 奥出雲葡萄園

ゲストハウスのレストランでは、奥出雲和牛ランプ肉のステーキランチやプレートランチなどが楽しめるほか、庭カフェでは心地よい風を浴びながらのピッツアやパンケーキもおすすめ。自社農園で育てた葡萄を使った本格派ワインや木次乳業のチーズはぜひ味わいたい逸品。

雲南市木次町寺領2273-1 [map B-4](#)
tel.0854-42-3480
ショップ10時～17時
カフェタイム10時～11時、14時30分～16時30分
ランチタイム11時30分～14時
庭カフェ10時30分～LO16時30分
火曜定休（祝日の場合は翌日）



ライ麦パン（大380円、小190円）や木次酒造の酒かすを使用したあんぱん（160円）など。



季節の食材で作ったプレートランチ（ドリンク付き・1620円）。自家製マルゲリータ（1500円）と、フルーツいっぱいのスキレットパンケーキ（650円）は庭カフェで。

ハード系パンと 日替わり天然酵母のパン 杜のパン屋

国産小麦粉や地下水など厳選した材料を使って、基本に忠実に手間を惜しまず焼き上げられるパンは食事パンがメインで、ハード系を中心に地元でも愛されている。週末には約40種が並ぶ。

雲南市木次町寺領2954-2（食の杜内）
[map B-4](#)
tel.0854-42-3656
10時～17時 月・火曜定休



懐かしくて新鮮な 純和風の宿で旅情に浸る 天野館

木次で
宿泊

「日本さくら名所100選」の桜並木を目の前に眺められる本館と、通りをはさんだ別館は散策もできる日本庭園があり、どちらもレトロ感いっぱい。昔ながらのふすまで仕切られた部屋に入れば、障子や窓ガラスにまで落ち着いた風格とぬくもりが。日常をリセットする最高の空間。

雲南市木次町木次51 [エリアマップb](#)
tel.0854-42-0006
料金／本館 素泊 5500円～
別館 素泊 6500円～



一度は泊まってみたい 1891年創業の宿。別館は通りの中でもひときわ目を引く。

古民家カフェのランチは 野菜ソムリエ手作り & CAFE 華羅

評判のランチは奥出雲和牛のローストビーフやハンバーグドリア、ホタテのグラタンなど全7種。ダシは前日から仕込み、使用する野菜も安心安全な近隣のもので、美味しいだけでなく体の中からキレイにする願いを込める。店内に並ぶアンティーク雑貨やアクセサリーなども楽しい。

雲南市木次町東日登240-4 [エリアマップb](#)
tel.0854-42-5887
9時30分～17時（LO16時30分）
ランチ11時～14時 不定休



手ごねハンバーグをデミグラスソースで煮込んだ「奥出雲和牛の煮込みハンバーグ」。ドリンク、プチデザート付き。1620円。ランチタイム以外ならラーメンも（810円）。



course
1 JR木次線の旅

沿線で泊まってゆっくり過ごす



美肌の湯で知られる温泉はPH8.9と、高い保湿力を数値で証明。部屋からは中国山地の眺めが美しい。

トロッコ列車利用の宿泊客は
三井野原駅まで送迎あり

亀嵩で
宿泊

亀嵩温泉 玉峰山荘

およそ1300年前に書かれた「出雲國風土記」に登場する亀嵩温泉。ゆつたりと浸かれば湯冷めしにくく、つるつるしたお肌に。広々としたラウンジでくつろぐもよし、美味しい料理に舌鼓を打つもよし。トロッコ列車利用の宿泊客は予約の際に申し込みば三井野原駅まで送迎あり。

仁多郡奥出雲町亀嵩3609-1 [map C-6](#)
tel.0854-57-0800
1泊2食付 1万3500円～
日帰り湯 600円
（10時～22時、受付は21時30分まで）



美味しいものを食べて
お風呂でゆっくり
したいよねー。





木々の間に吊したハンモック（無料・もりのすにて貸し出し）に揺られて森と一体になる感じがたまらない。



ディナーは地元の滋味あふれる食材をグリルスタイルで。メインは奥出雲和牛だ。

森の中で過ごすスペシャルな休日 森のホテル もりのす

宿泊

開放的な1階ラウンジは東南アジアの調度品で異空間を演出し、宿泊客にはワイン飲み放題のプランがあるなど、大人がゆっくりできる仕掛けががちりばめられている。飯南町ふるさとの森にあり、森林セラピーガイドがお得になる宿泊とのセットプランもおすすめ。

飯石郡飯南町小田 842-2 [map E-3](#)
tel.0854-76-3119
1泊2食付1万1000円～（税別）
12月～3月中旬まで冬期休業



上／飯南町ふるさとの森で例年4月末頃に開花するヤマザクヤク。
下／初めて見る植物の名前や生態などを森林ガイドさんに教えてもらう。そのけなげさと生命力に感動！

豊かな森が持つ力で心も体もリラックス

飯南町ふるさとの森（県民の森）

森林セラピー

体験

森林セラピーは、森林浴の効果を医学的・科学的に解明して、より高い癒やし効果を得ることが目的。飯南町のセラピーロードは山野草やさきこ園など4種あり、希望に応じたコースをセラピーガイドと一緒に歩く。歩きやすい服装で、大自然をゆっくり五感で味わってみては。

問い合わせ&申し込み／（一社）飯南町観光協会
飯石郡飯南町下赤名 880-3 [map E-3](#)
tel.0854-76-9050
9時～17時 水曜定休
料金／ガイド1人付8000円（保険付・6名まで・3時間程度）
（申し込みは2週間前までに）



大自然にそのまま 身をゆだねよう

中国山地で広島県と接する奥出雲地方は、四季ごとに異なる魅力的な自然の顔を見せてくれる。

中でも飯南町は山陰で初めて「森林セラピー基地」として認定されたところだ。科学的にも心身のリラックス効果が実証され、関連施設も整っているから、セラピーロードをのんびり歩くうちに素の自分に戻れそう。あるいは、レンタサイクルで山里を巡れば自分だけの思い出スポット発見につながるかも。

雲南市では乗馬体験もできるなど、それぞれの楽しみ方で、奥出雲地方の大自然をアクティブに満喫しよう。

紅葉シーズンには色鮮やかな景色が迎えてくれる。



緑と風に包まれてアクティブな体験を

course
2

大自然満喫の旅



膝への負担が少なくなるようウッドチップが敷き詰められたセラピーロードをゆっくり散策する。



Column
おくいずもに
見つけた
深い暮らし

糸を紡ぐ、人をつなぐ ていねいな暮らし

その宿の看板はなく、入り口さえわからない。電話をかけると、奥出雲地方の暮らしを求めて関東から1ターンした宿の主人白山洋光さんが道端で手を振ってくれている。「ここから入ってください」と、先導してくれたのは蔓が絡み合った藤の枝のトンネル。腰をかがめてぐり抜けると、目の前に築250年という古民家が佇んでいる。「ここでは民泊ができ、夏は蚊帳の中で寝たり、釜でご飯を炊いたり、田畑での作業もできます。夜は囲炉裏を囲んで、いろいろと語り合ったりもします」

妻の里香さんとともに育てているコッ

ンは、貴重な国産オーガニックコットンタオルとなり、たくさんの人を癒している。種まきや収穫、糸紡ぎ、機織りなどの体験は、女性からの申し込みが多いとか。

煤でいぶされた囲炉裏の間で、里香さんがにぎったおむすびを頬張る。甘みのある米は、白山さんが伊勢神宮で種をいただいて、機械を使わない古来の農法で育てたという。漬物や梅干し、山菜の煮物も手作りだ。暮らしに必要な衣食住は、原料から手作りすることをめざす白山夫妻。ゆっくりと流れる時間に自分をゆだね、からだと心の声に耳を傾けたい。



囲炉裏サロン 田楽荘
仁多郡奥出雲町中村 1458
map C-6
tel.090-4848-0284
※出ないときにはメッセージを
完全予約制 (1週間前)
民泊体験 1泊2食付 8800円～
(食事は共同調理)



1. 煤にいぶされた囲炉裏の部屋。2. 古来の農法で作った米のおむすびは格別な味わい。3. 夫婦で育てた米や野菜、奥出雲の野山の恵みを囲炉裏で調理する。4. 糸紡ぎ、機織りの体験もできる。



上／馬場を2周する。スタッフが馬を引くので安心して乗馬体験ができる。下／緑豊かな牧場で草を食む馬たち。

馬と寄り添い馬と暮らす牧場で
乗馬体験

体験

雲南 TRC さくらおろち牧場

広々とした牧場に暮らす馬たち。ここでは、気軽に牧場見学や乗馬体験、馬とふれあうことができる。1回のみでも、続けて活動に参加してもOK。ホースセラピーも行っている。

雲南市木次町北原933-2 map C-4
tel.0854-48-0655
9時～12時、13時30分～17時30分(受付終了30分前)
水曜定休
料金／馬との出会い体験コース(20分)2160円ほか



ペダルをこぎながら美しい山里を巡ろう

飯南レンタサイクル
エコツーリング

体験

ロードバイク愛好者にとってはお馴染みの飯南町の山里を、レンタサイクルで巡ってみよう。気軽な移動手段として利用するだけでなく、4つのモデルコースが設定されているので、40kmを超えるロングコースや15kmほどの街並みを行くコースなど、体力や好みに合わせて楽しむことができる。

問い合わせ&申し込み／(一社) 飯南町観光協会
飯南町下赤名880-3 tel.0854-76-9050 map E-2
【レンタサイクル】
貸出&返却場所／飯南町観光協会(道の駅赤来高原内)
貸出時間／9時～17時(水曜定休)
料金／1日1000円(小学生以下500円)

山あいにある
小さな別荘の雰囲気

カフェ*handmade 雑貨
ステッチ



自家製の米と朝採れ野菜を使ったプレートランチ(限定20食)や、パスタランチ(サラダ、ドリンク付き)などランチは3種。芝生の庭を眺めながらテラスでくつろぐのもおすすめ。

飯石郡飯南町上赤島1038-2 map E-2
tel.080-8239-0735
10時～17時(ランチタイム11時～14時)
土・日曜定休



飯南町観光協会
で自転車
を借りて、
カフェ
ステッチ
でランチ
を楽しみに。

飯南町ふるさとの森



約45分

カフェステッチでランチ

約20分

道の駅赤来高原



田部家を中心として、たたら製鉄の町として栄えた雲南市吉田町。往時の風情を持つ通りをゆっくり散策したい。



鉄の歴史博物館

たたら製鉄技法や道具、日本一の山林王で鉄山師・田部家の古文書など貴重な資料を展示。この地域の繁栄ぶりを知ることができる。入館料 510 円。[エリアマップ C](#)



田部家土蔵群

雲南市吉田町の町並みでひととき目を引く白い土蔵群。室町時代にたたら製鉄を始めた田部家は、たたらで栄えたこの地域を象徴する存在だ。[エリアマップ C](#)



風格ある住居は国の重要文化財 可部屋集成館 櫻井家住宅 庭園

田部、絲原両家とともに鉄山師御三家である櫻井家。屋号の「可部屋」を付けた集成館は住居に隣接し、たたら関連資料のほか、松江藩主松平不昧公直筆の掛け軸などを展示する。

仁多郡奥出雲町上阿井 1655 [map D-4](#)
tel.0854-56-0800
9 時～16 時 30 分（入館は 16 時まで）
可部屋集成館入館料 700 円
櫻井家住宅・庭園入園料 400 円（共通券 1000 円）
月曜定休（祝日の場合は翌日）（冬期休館）



貴重な歴史と文化財の宝庫 絲原記念館 絲原家

奥出雲で 400 年続く旧家絲原家は、松江藩の五鉄師の一つ。記念館にはたたら関連の資料や貴重な美術工芸品などを展示。現当主が住まいする住居は国登録有形文化財。出雲流庭園ともに拝観できる。

仁多郡奥出雲町大谷 856-18 [map C-5](#)
tel.0854-52-0151
9 時～17 時（入館は 16 時まで）
入館料 1000 円（「記念館、庭園、洗心乃路」共通）
無休（年末年始、3 月、6 月、9 月の各 3 日の展示替え日に休館）



食材を 30 品目以上使った季節御前 1500 円。

山の恵みを味わい ゆったりとくつろぎたい はしまん

食事 & 宿泊

吉田町の石畳の通りにたたずむカフェと宿。1 階「山里かふえ」では地元の山菜を使った料理が味わえる。2 階は「ツーリズムの宿若槻屋」。築 150 年の元庄屋の屋敷で、ゆっくり過ごしたい。

雲南市吉田町吉田 2566 [エリアマップ C](#)
tel.0854-74-9055
10 時～16 時（カフェ）
月曜定休（祝日の場合は営業）
1 泊朝食付 5800 円



産業の礎を築いた鉄・たたらの世界

course
3

Deep なきらり旅



本物があるから 知るほどにおもしろい

古来の製鉄法・たたらが盛んで、たたら関連のものが数多く点在する奥出雲地方は、その価値が「日本遺産」としても認められている地域。

雲南市吉田町の菅谷たたら山内で迎えてくださったのは、ここで生まれ育ち、現在も家族とともに住む施設長の朝日光男さんだ。

たたら製鉄を行う神聖な雰囲気の高殿では、実際の操業がどのように行われたのか、さらに周辺を散策しながらさまざまな説明を聞くほどにかつての繁栄が目の前に再現されるような感動がじわじわと心に染みてくる。ご神木のようなカツラの前に立てば、「私が子どもの頃、この木の根元で村下がキセルをふかし休憩していた」と教えてくれた。「この地には本物がある」と誇らしげな朝日さん。

たたらに限らず、奥出雲には奥深い魅力を持つ本物がたくさんある。

たたら師たちが暮らした集落 菅谷たたら山内

高殿（たたら製鉄の建物）が現存するものとして日本で唯一。たたら製鉄のために必要な粘土や木炭などの材料、谷川沿いに吹き上げる風や川の水などの自然条件など最適な場所であり、山内全体が国の重要有形民俗文化財だ。松江道の吉田掛合 IC または雲南吉田 IC から車で約 15 分。

雲南市吉田町吉田 4210-2 [エリアマップ C](#)
tel.0854-74-0350
9 時～17 時（入館は 16 時まで）
月曜定休 入館 300 円



Deep なきらり体験②



新しい友塚畳工店の外観。イグサの敷物にカップを置いて。

友塚畳工店 ミニ畳作り体験

室町時代から続く日本の畳。その文化に触れられる店がここ。イグサの写真立てや畳の敷物など、モダンテイストの畳グッズが並ぶ。ミニ畳作りは、作り始めると意外とはまってしまう。約1時間半でマイ畳の完成！毎月第1、3日曜は畳カフェ（予約）もオープン。美味しいコーヒーが飲める。

仁多郡奥出雲町八川 1543-1 **map D-6**
tel.0854-52-2379
料金／2000円（ドリンク付き）
体験は要予約



自作のミニ畳に
愛着が湧くわ〜

小さな畳を作ることで畳愛を深めてもらおうと始まった、ミニ畳作り体験。畳の縁は、好みで選んで。下／オブジェになるイグサアート（1500円）。写真を挿して。消臭効果もある。



手作り体験で見直そう！日本の畳

友塚さんこだわりの
コーヒーも味わいたい！

Deep なきらり体験①



斐伊川和紙 紙漉き体験

広がる田園の一角に、江戸時代から続く斐伊川和紙の紙漉き工房がある。ここで、技術を継承する7代目の井谷伸次さんの指導のもと、和紙を漉く体験ができる。世界で1枚しかない自分だけの和紙作りにチャレンジしてみたい。紙の魅力と使い方の再発見になりそう！

雲南市三刀屋町上熊谷 302 **map B-4**
tel.090-8242-9391 9時～17時
体験は2週間前までに要予約
料金／1000～2000円（送料別）

紙漉き体験で、和紙の魅力を発見！

縦横を交互に漉く、
十文字漉きが特徴だよ



蒸した楮（こうぞ）の剥いだ皮が原料。水に溶かした繊維を木枠ですくうと紙になる。下／近年は朱印帳が人気。はたきもかわいい。



お立ち寄りスポット

道の駅 たたらば壱番地

松江自動車道雲南吉田 IC に隣接する道の駅。駅内には地元の農産物が並ぶ産直市、みやげ店、レストラン、プリンやソフトクリームを販売する店が並ぶ。買い物や休憩に。



雲南市吉田町吉田 4378-31 **エリアマップ C**
tel.0854-74-0018
8時30分～19時30分 無休

たなべの ままたまごぷりん

吉田町のきれいな水とエサを与えられ、平地で飼われている元気な鶏たち。その鶏の新鮮な有精卵を使ったプリンは絶品！手作り風味を味わいたい。

ままたまご吉田本店
（道の駅たたらば壱番地内）
tel.0854-74-0075 1個 324円



日本三大美肌の湯で お肌ツルツル

斐乃上温泉 斐乃上荘

美肌・美白効果が期待できるなめらかな温泉は、湯冷めしにくく肌触りも柔らか。ゆっくり泊まって美肌の湯に浸かり、豊かな自然の恵みいっぱい料理をいただければ、体の内外ともにキレイになりそう。可憐なカタクリの花が咲くことで知られる船通山のふもとにある。

仁多郡奥出雲町竹崎 488-1 **map C-7**
tel.0854-52-0234
1泊2食付 9100円～
日帰り湯 500円（10時～20時 ※冬期12月～2月は19時まで）
10月より火曜定休 冬期のみ水曜定休（年末年始は除く）



宿泊

たたら操業跡地にある 古民家風カフェ

鉄師 ト蔵家 鈿の舎 Cafe TATARANOIE

松江藩の鉄師であった名家・ト蔵家が所有する原たたら元小屋を改修したカフェ。手作りスイーツや湧水コーヒーなどが楽しめ、囲炉裏のテーブルでくつろげば、時の流れがゆるやかに。地元専門学校卒業生の陶芸作品や雑貨も展示、販売している。

仁多郡奥出雲町竹崎 878 **map C-7**
tel.0854-52-0063
土曜、日曜、祝日の11時～17時
冬期休業（12月中旬～3月中旬予定）



左／ガトーショコラ（450円）と敷地内の湧水を使用したコーヒー（400円）。上／木次牛乳を使ったプリン（350円）。6月頃からきき米も。今春より源流仁多米の米粉と仁多牛を使ったオリジナル肉まんも登場予定だ。



1日2組限定 河畔に湧く里山の温泉宿 湯村温泉 湯乃上館

「斐伊川のほとりに薬湯あり」と、およそ1300年前に書かれた出雲國風土記にも登場する名湯湯村温泉。湯乃上館は、泉源のすぐ上に建つ宿で、江戸時代初期から続く。風情ある明治初期の木造建築は建造物としての価値も高い。内湯、家族風呂、露天風呂、

雲南市木次町大字湯村 1336 **map C-4**
tel.0854-48-0513
1泊2食付 1万4406円～（2名以上、1日2組限定）
公衆浴場 大人400円

里山の風情ただよう趣ある宿。茅葺の離れて囲炉裏を囲み食事ができる。



源泉100%かけ流しの公衆浴場。足湯もおすすり。

[illegible]

雲南 吉田

道の駅
たたらびき番地

またまた吉田本店 P24

GS

吉田グリーン
シャワーの森

鉄のキツネがお出迎え

田部家土蔵群 P23

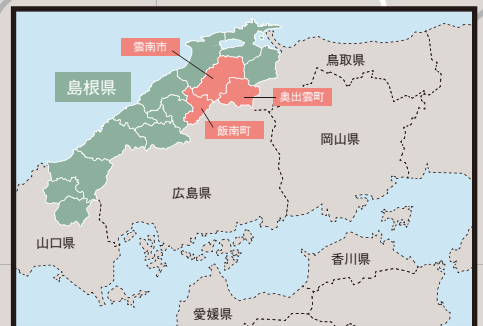
はしまん P23

管谷高殿

272

A detailed map of the area around the Yamanashi Prefectural Museum (出雲横田 雲州そろばん 伝統産業会館). The map shows the museum building and its parking area (P15) in green. Surrounding landmarks include the Yamanashi Prefectural Museum of Modern Art (横田相愛教会 P15), the Yamanashi Prefectural Museum of Modern Art (和彩空間 たち花 P15), the Yamanashi Prefectural Museum of Modern Art (奥出雲町 横田庁舎), the Yamanashi Prefectural Museum of Modern Art (ウェルネス), the Yamanashi Prefectural Museum of Modern Art (ジュンテンドー), the Yamanashi Prefectural Museum of Modern Art (一風庵), the Yamanashi Prefectural Museum of Modern Art (松葉屋), the Yamanashi Prefectural Museum of Modern Art (ファミリーマート), and the Yamanashi Prefectural Museum of Modern Art (横田公園). The map also shows the Yamanashi Prefectural Museum of Modern Art (奥出雲たたらと 刀剣館) and the Yamanashi Prefectural Museum of Modern Art (そろばんと工芸の館 P15). The map includes road numbers 314 and 15, and a scale bar indicating 0, 100, and 200 meters.

Guide Map



鳥取県
日南町

Instagram 更新中!
うんなんエリア観光情報
雲南広域連合公式アカウント
unnan_area



無料区間
道 JCT～三刀屋木次I
中国やまなみ街道

中国やまなみ街道

トロッコ列車と、大自然と歴史と、人も魅力的なおくいずも

「Kirari Tabi 2号」をお読みいただきありがとうございます。山陰の魅力を全国に発信している文化情報誌「さんいんキラリ」は、おきいずも女子旅つくる！委員会の皆さまや、うんなん観光ネットワーク協議会の企画・監修のもと、この「Kirari Tabi」を

書店を中心に配布し、創刊号・2号は「女子旅」3号は「家族旅」をテーマに構成。いずれの冊子も好評をいただき、このたび新たに増刷することになりました。

創刊号に続く2号は「Spring&Summer」と決まると同時に、「桜」とトロッコ列車はぜひ紹介しよう、と意見がまとまりました。どちらも期間限定でしか楽しめないものです。

「桜」は、「日本さくら名所100選」の斐伊川沿いの桜並木をはじめ地域の自慢であり、特集「さくら咲く、おきいずも」となりました。各所に咲き誇る桜を愛で、桜にちなんだグッズなどもあわせて楽しんでいただければと思います。JR木次線名物の「トロッコ列車」は、春から秋までの運行です。列車に揺られておきいずもの美味を楽しみながら、沿



天野別邸にて。しっとりとした雨の日の取材。

おきいずも地方の魅力がぎゅっとつまった宝箱のような旅のツール

女子旅応援マガジン「Kirari Tabi」

発行／グリーンフィールズ
定価／フリーペーパー
問い合わせ／
うんなん観光ネットワーク協議会（雲南広域連合 企画課内）
Tel.0854-47-7341

KirariTabi 好評につき、増刷しました！



創刊号 女子旅
Autumn & Winter 2017

Vol.2 女子旅
Spring & Summer 2018

Vol.3 ファミリー版
Special Edition 2018-19



Kirari Tabi

島根を旅する！
雲南市 | 奥出雲町 | 飯南町

Vol.2 Spring & Summer 2018
2018年 3月1日 初版第1刷発行
2019年 8月9日 第3刷発行

企画・監修 うんなん観光ネットワーク協議会
（雲南広域連合企画課内）

編集人 奥田英範
編集&文 キラリ編集室
山根み佳
三代久子

アートディレクション&デザイン

多田桐子
撮影 神庭恵子 KWAN
撮影協力 今若麻希子 萱野雄一
佐野明美 山田真実
余有奈
イラスト 小林マキ 葉付ミカン

協力 おきいずも女子旅つくる！委員会

営業 上野永輔

広告のお問い合わせ

さんいんキラリ
〒689-3532 鳥取県米子市上新印342-1
電話 0859・27・7074

印刷 有限会社 米子プリント社

発行 グリーンフィールズ
〒689-3532 鳥取県米子市上新印342-1
電話 0859-27-7074

© Greenfields 2018

*本誌掲載の写真・図版・記事などの複写・転載を禁じます。

今回の旅のナビゲーター

おきいずも女子旅 つくる！委員会

島根県おきいずも地方（雲南市、奥出雲町、飯南町）の女性が集まり、「おきいずも地方の魅力をもっとたくさんの人に知ってもらいたい」と、女性目線で旅の楽しみ方を提案しています。フリーペーパー「Okutabi」の発行やWEBでの情報発信を通じ、島根を旅する女性を応援します！

KirariTabi 電子版でバックナンバーをチェック！



<http://okutabilove.com/>

おきいずも 検索



おきいずもの旅の
計画をお手伝い



この冊子は、2018年3月1日に発行された内容を、一部改訂し再編集しました。



赤名湿地

島根県下最大のハンノキ林があり、
湿地内には木道が整備されている。
ミツガシワ、トキソウなど貴重な湿地
性植物が自生する。撮影／KWAN